



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 国際会議報告



会議： 国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）
海洋環境保護分科委員会（SC 2）マルメ会合

開催場所： 世界海事大学（WMU）：マルメ市・スウェーデン

会議期間： 2018年6月12日～14日

参加者： オブザーバーとリエゾンを含む8カ国24名

海技研からの出席者：

高橋 千織：環境・動力系 環境分析研究グループ グループ長

小島 隆志：環境・動力系 環境影響評価研究グループ 上席研究員

概要：

ISO/TC 8/SC 2 は、WG 4（船上ゴミ）、WG 5（船舶防汚システム）及び WG 8（軸出力計測）と同時に開催された。各 WG はそれぞれの規格案の検討を進め、後述の通り合意された。また、SC 2 総会で今後提案予定の NWIP（新規作業計画）2 件のプレゼンテーションが行われた。期間中、世界海事大学（WMU）の教員、学生のための ISO セミナーが開催された。



ISO セミナーの様子

主な貢献

小島は、防汚塗料システム（WG 5）に係る規格案、具体的には防汚塗料の性能評価試験に係る規格の審議をプロジェクトリーダー（PL）として担当した。

高橋は、SC 2 総会で船上における水質連続計測用 pH 計に係る規格の日本提案についてプレゼンテーションを実施した。

主な審議結果

主な審議結果は以下の通りである。審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。

1 WG 4（船上ゴミ）

- ISO/PRF 16304 “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Arrangement and management of port waste reception facilities” について検討し、修正ドラフトに合意した。
- ISO 21070 “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Management and handling of shipboard garbage” について検討し、MARPOL 附属書 V の改正に伴う訂正文書（corrigendum）案を作成し、さらに検討することに合意した。
- ISO/DIS 13617 “Ships and marine technology -- Shipboard incinerators -- Requirements” について検討し、次の段階（現在 DIS 投票が終了）に入る前に、さらに検討することに合意した。
- 極海コード関連の船上ゴミ管理及びゴミ受け入れ施設にかかる新規作業計画（NWIP）の提案について検討し、次の段階に入ることに合意した。

2 WG 5（船舶防汚システム）

- ISO/NP 21716-1～3 “Ships and marine technology -- Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints” について検討し、次の段階に入る前に、さらに検討することに合意した。



3 WG 8 (軸出力計測)

- ISO 23048 (PRF) “Ships and marine technology -- Verification method for portable power measurement using strain gauge” は発行段階にあり、次の段階に入る前に、さらに検討することに合意した。
- ISO 20083-2 “Ships and marine technology – Shaft power measurement for ship propulsion system -- Part 2: Optical reflection method” 及び ISO 20083-3 “Ships and marine technology – Shaft power measurement for ship propulsion system -- Part 3: Alloy strip vibration method” について検討し、次の段階 (DIS 投票) に進むことで合意した。

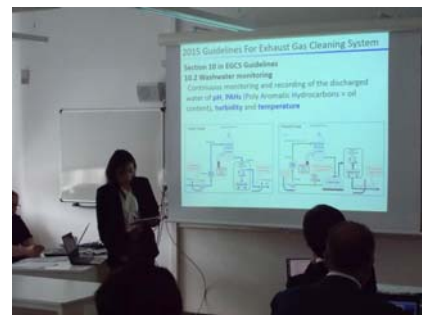
4 WG 3 (油流出)

- WG 3 については、会合の開催がなかったため、コンビーナから活動状況が報告された。
- ISO/DIS 17325-3 “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Oil booms -- Part 3: End connectors” 及び ISO/DIS 17325-4 “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Oil booms -- Part 4: Auxiliary equipment” について検討し、最終案に合意した。
- ISO 21072-1:2009 (Ed.1) “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Performance testing of oil skimmers -- Part 1: Moving water conditions” を廃止することについて、さらに検討することで合意した。
- ISO 21072-2:2009 (Ed.1) “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Performance testing of oil skimmers -- Part 2: Static water conditions” 及び ISO 21072-3:2010 (Ed.1) “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Performance testing of oil skimmers -- Part 3: High viscosity oil” について、さらに検討することで合意した。
- AWI 21963 “Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Tank and piping system for facilitating oily water separation on fixed offshore marine structures” について、次の段階 (skip-CD 投票) に進むことで、合意した。
- “Accreditation requirements of oil spill response contractors” について、新規作業項目として提案することに合意した。

5 新規 ISO 規格の状況

NWIP の提案に関する以下の 2 件のプレゼンテーションが行われた：

- (1) Guideline for method of collecting ship’s fuel oil consumption data (韓国 Ms.Jeon-Min Cheon)
- (2) pH measurement for washwater monitoring systems of exhaust gas scrubbers (高橋)



SC 2 プレナリーでのプレゼン (高橋)

6 その他

会合開催期間中に、世界海事大学 (WMU) の教員、学生のために、“On recent IMO activities and ISO standards for marine environment protection” と題して、海洋環境保護に関する IMO 及び ISO 活動の最新情報を紹介する ISO セミナーが開催された。SC 2 議長、幹事、各 WG 議長から計 6 件の講演が行われ、WMU 教員・学生約 70 名の出席があった。講演後の質疑の時間には活発な討論が行われた。

7 次回会合

議長は、2019 年に日本 (東京) での開催を提案した。